

学術講演会

夜のとばりが降りるとき：想い、夢、祈り ～ピアノソロ夜想曲の歴史を辿って～

ショパンのノクターンを中心に、ノクターン（夜想曲）というジャンルの発生と変遷をたどり、その意味を探るレクチャー・コンサート。

演奏曲目

1. F. ショパン ノクターン Op. 9-2
2. J. フィールド ノクターン第1番
3. F. ショパン ノクターン Op. 15-3
4. F. ショパン マズルカ Op. 50-2
5. E. ウォルフ マズルカ形式のノクターン
6. B. バルトーク 《戸外にて》より第4番

日時：2011年1月8日（土）15：00～17：00

場所：西南コミュニティーセンター・ホール

講師：松本直美（音楽学者／ロンドン大学ゴールドスミスカレッジ音楽学部アソシエート講師）

演奏：宮崎由紀子（ピアニスト／西南学院大学非常勤講師）

対象：学生教職員・一般（入場無料／事前申込不要）

主催：学術研究所 / 共催：国際文化学部

（国際文化学部学内 GP「ことばの力」養成講座）

問合：栗原詩子（国際文化学部 准教授） utako@seinan-gu.ac.jp

【講師プロフィール】

京都市出身。愛知県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒。故平田黎子、藤井多恵子氏に師事。1996年イギリスに渡り、トリニティ音楽大学大学院ディプロマ過程声楽専攻修了。同音楽大学演奏家資格取得。故ロバート・スペンサー、イアン・パートリッジ、テレサ・カーヒル諸氏に師事。1997年ロンドンCochrane 劇場でのモンテヴェルディ作曲《オルフェオ》のニンフ役、《ポッペアの戴冠》の徳の女神役、同年ノルウェーRingve 古楽祭でのブロー作曲《ヴィーナスとアドニス》の羊飼いの娘役などバロックオペラでの演唱で評価を受ける。

1999年より音楽学研究を開始。2000年ロンドン大学ゴールドスミスカレッジ大学院修士課程音楽学専攻をディステインクションを得て首席修了。2005年論文「The Operatic Mad Scene: Its Origins and Early Development up to c.1700」で同大学より博士号授与。17世紀のイタリア・イギリス声楽作品の研究に対して2001年Universities UK Overseas Research Scheme Scholarship、2002年British Federation of Women Graduates National Award、2007年Gladys Kriebel and Delmas Foundation British and Commonwealth Award各賞を受賞。共著に1001 Classical Recordings (London, 2007)、Beyond Notes: Improvisation in Western Music in the Eighteenth and Nineteenth Century (Turnhout, 2011 出版予定)。また『音楽学』などに学術論文を多数発表。近年は特に17・19世紀イタリアオペラ、王政復興期のロンドン劇場について研究を展開している。

現在、ロンドン在住、ロンドン大学ゴールドスミスカレッジ音楽学部アソシエート講師、日本音楽学会、日本イタリア学会、合衆国 Society for 17th -Century Music 会員。大学勤務の傍ら Associated Board of the Royal Schools of Music 公認の個人ピアノ・声楽教師としても活躍中。